

第9回 SOSTAP 関西月例会議事録(関西メンバ配布版)

日時 : 2017年1月13日 13:00~17:45
場所 : IDEC 株式会社 本社ホール C
出席者 : 6名 (法人会員 : 3名 個人会員 : 3名)

1. 福田会長より 2017年度年頭の抱負

会員企業の安全レベルの向上に向けて、当会としてどう具体的に寄与するのか。
議論を尽くして出来上がった安全技術情報を丁寧に解説し、皆が使える安全技術として伝え普及させていく。ひいては日本の企業の安全の底上げを計る。
地味でよいからその努力を営々と続ける活動を基軸として、会員企業の安全に貢献し、当会を世の中の役に立つ基盤となる存在であるようにしていきたい。

2. 第284回月例会(東京地区) (2016/12/22) の報告事項

題記について当日出席の関西地区月例会メンバより説明がなされた。

<企画運営委員会審議事項>

(1) ロボットワーキングGr 発足の企画について報告あり。

新研究テーマ「産業用ロボット協働運転の安全仕様」を研究会理事会、普及会理事会に企画提案して、2017年に導入のための手引書を作成する。

次のステップとしてロボットユーザー技術者養成プログラムを作成して提案する予定。

(2) 新研究テーマアンケートを実施した(11月30日締切り、記入者21名)。

集計結果、「産業用ロボット協働運転」、「安全技術者のスキルアップ」、「リスクアセスメント」、「からくり安全」の4テーマの評価点が高かった。1月度企画運営委員会でアンケート結果を①単発的なテーマ、②課題として継続的に検討していくテーマ、③部会を作って調査研究するテーマ、の3分類に分け、推進していくことにした。

- ・「産業用ロボット協働運転の安全仕様〔分類③〕」については(1)に記載のとおり
- ・「安全技術者のスキルアップ〔分類②〕」については、月例会での各社実態報告より始める。
- ・「リスクアセスメント〔分類③〕」については、リスクアセスメント部会で検討する。
- ・「からくり安全〔分類②〕」については、まず会員への安全確認型の啓発活動から始める。

<最新情報トピックス>

(1) 「安全衛生教育要綱」の改訂

「安全衛生教育要綱」が改訂され、各社は通達に沿った適切な教育方法の早期確立が求められる。安全技術普及会の講習会は、2017年より通達のカリキュラムに合わせ、機械安全設計者コース、生産技術管理者コースを明示するようにした。

<今月度の研究会テーマ>

(1) 「化学物質による危険性又は有害性等の調査等に関する指針の改正」

- ・化学物質のリスクアセスメントが平成28年(2016年)6月1日から義務化された。

- ・リスクアセスメント対象化学物質はこれまでの 640 種に加え、新たに 27 物質が追加された。
(平成 29 年 3 月 1 日より施行)
- ・化学物質のリスクアセスメントが平成28 年(2016 年)6 月1 日から義務化された(平成29 年 3 月1 日より施行)。
- ・リスクアセスメント対象化学物質はこれまでの 640 種に加え、新たに 27 物質が追加された。
- ・コントロールバンディング法だとリスク見積もり結果が必要以上に重いものになる傾向があるので、濃度を測定できる場合は測定値で評価するほうがベター。

(2) 「ISO12100 における「使用上の情報」に対する回避の可能性の考え方」

- ・【リスク低減プロセス：ステップ3 使用上の情報】のリスク低減への貢献をどのように考えるかについて討議。

人間工学的に気付かせることをしろ、というのが規格要求の趣旨だと思われる。使用上の情報に含まれる警報装置(音、光等)であれば回避の可能性のリスク要素が低減できると考えられるが、これで回避できる、という誤解が先行する恐れがあるので注意が必要。

(3) 「保護方策における制御システムの安全機能」について法令・規格委員より報告があった。

具体的な内容については、畑事務局長が来阪の時に説明されるであろう。

<研究会への提案・要望>

質問：ロボット設置場所で使いたいセーフティーレーザースキャナーをライトカーテンと同じに扱っていいのか。

回答：安全確認型システムとなるような、要素の組み合わせを行うことが重要である。

安全確認型システム、危険検出型システムとは何かの説明を来月行う。

2. 月例会(関西地区)の討議事項

1) 関西地区月例会及び関西地区委員会の 2016 年度活動報告、2017 年度活動計画の作成

2) 月例会(関西地区)の独自テーマ選定について

- ・討議時間が無くなったため今回は検討せず。

3. その他

1) 関西月例会配付・発表資料

資料番号	資料名
285-1-1	平成 2 8 年 1 0 月 1 2 日「安全衛生教育推進要綱」新旧対照
285-1-2	日本の労働安全における機械安全関連の法令・通達の概要
285-2-1	平成 2 8 年 1 0 月 2 7 日 基安化発1027 第 1 号 「表示・通知義務対象物質の追加に係る周知について」
285-2-2	化学物質のリスクアセスメントが義務化されました
285-2-3	I S O 1 2 1 0 0 における「使用上の情報」に対する回避の可能性の考え方
285-2-4	保護方策における制御システムの安全機能

2) 次回月例会の開催予定

- ・ 東京地区： 1 月 20 日 (金) 10:00～ 大井町
- ・ 関西地区： 2 月 10 日 (金) 13:00～ 新大阪 以上